



手良小学校 「手良の自然に親しむ日」 11/13



手良小学校では、全校で校外の自然の中に出かける「手良の自然に親しむ日」という行事を、20年以上前から行っています。今年度は仙丈班（縦割り班）毎に歩いて、いくつかのチェックポイントを回るという形で実施しました。目的地は、「さくら公園」の予定でしたが、クマの足跡があったということで、「八幡神社」と「鳥の宮湧水（とのみやゆうすい）」になりました。

校庭から、縦割り班ごとに、時間差をつけて出発しました。当日は、天気が良く、手良の秋の風景を眺めながら、グループの仲間と楽しく歩いていきました。

6年生がグループを引率しコースを考えるので、グループごとにコースは様々です。5年生は、地図とビンゴカードを作りました。ビンゴカードのミッションは同じですが、デザインはグループごとで違って工夫されていました。4年生はクイズ係で、各ポイントでクイズを出題しました。3年生は、グループの目印になる旗をつくりました。2年生はおやつ係で、みんなにおやつを配りました。1年生はお昼のあいさつ係でした。

このように、「手良の自然に親しむ日」は、子どもたちが自分たちで考えて作り上げる子どもたちが主人公の行事であり、異学年の友だちとともっと仲良くなり、手良の文化財や自然に触れて地域を知って地域に親しむ、充実した行事でした。



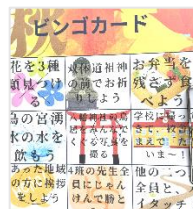
6班から間隔を置いて、出発



八幡神社でミッション



引率は6年生、旗は3年生作



5年生作 デザインが、何種類もありました。



おやつ係は、2年生



クイズ係は、4年生



鳥の宮用水の水を飲むミッション



地域の人に挨拶をするミッション



お昼のご飯の挨拶係は、1年生



伊那小学校 「バタフライガーデンをつくろう！」 11/17



伊那小学校で、市内各小中学校の人権教育担当の先生方が集まり、「伊那市学校人権同和教育授業研究会」が開かれました。人権同和教育は、教科（含む道徳）、特別活動、総合的な学習の時間など、教育活動全体を通じて行われます。今回は、「友の活動を気にかけて、友のつくったバタフライガーデンを見たりする中で、友の活動に寄せる想いを感じてほしい。」という人権同和教育にかかわる担任の先生の願いのもと、2年文組の授業で、「もっとチョウに会いたいな～文組バタフライガーデンをつくろう～」という題材名で行われました。

文組の児童たちは、1年生の時、散歩中に見つけたキアゲハを教室で羽化させ、その美しさに感動したことが

きっかけで、チョウに興味を持つようになりました。その後、宮田村のアサギマダラの里を訪ねるなどして、学校にチョウがたくさん来てくれるといいなという想いをもち、バタフライガーデンづくりを始めました。

文組の児童たちは、これまで自分たちの身長より高い草が茂っていた藪を切り開き、バタフライガーデンをつくってきました。この日は花壇や池をつくる活動が行われ、穴を掘ったり、草の根を掘り出したり、草を運んだり、階段をつくったりと、それぞれの活動への意欲が感じられました。先生が終わりを告げると、一斉にもっとやりたい「え〜。」という声が上がりました。



草刈りをして、平らにしました。



池を作って、睡蓮を浮かべたい！



ノコギリで太い根を切ります。



階段の踏み棒を切ります。



硬い地面を体重使って掘ります。



チューリップやパンジーを植える予定の場所です。



昨日、赤ネズミが見つかった場所が気になっています。



みんな頑張ったね。



斜面の両側に、蹴上げの棒を打って、踏み棒を止めるようにします。



お花を植える場所を作ります。



刈った草を一輪車にのせます。



一輪車の草を協力して、おろします。

授業研究会のグループ協議では、参加した先生方から児童の様々な姿が報告され、担任や参加者が互いに学び合う場となりました。南信教育事務所学びの共創課指導主事の千野先生からは、人権教育を通じて身につけたい力を「知識的」「価値的・態度的」「技能的」の3つの側面から考えることや日頃の教師の姿が隠れたカリキュラムとして重要であること、などのご指導をいただきました。文組の児童たちのバタフライガーデンづくりが進み、来年度にはたくさんのチョウが集まってくることを願っています。

西箕輪中学校

『全校縦割り討論会』

11/18



西箕輪中学校には、2010年1月21日に先輩たちが生徒総会で採択した「西箕輪中学校人権宣言」があり、毎年4月の生徒会入会式で、新入生にその採択までの歩みを伝えて、各クラスに教室掲示用の人権宣言が渡されています。人権月間のこの日は、生徒会企画の「縦割り討論会」が行われました。最初に、いじめアンケートの結果報告があり、みんながアンテナを立てていじめに気づき、いじめと思ったら声を上げて行くことを確認し、「人権宣言」が読み上げられました。

その後、縦割りグループに分かれて、討論会が始まりました。西箕輪中学校では、日頃から縦割りグループでレクレーションをするなど、全校が仲良くなる活動をしているので、和気あいあいとした雰囲気の中、活動に入っていました。

アイスブレイクを行ってから、「ちがいのちがい」というワークショップで環境



2時間にも及ぶ討論会を、協力して進めてくれました。

問題や人種問題等について、さらに「西箕輪中学校の集会での並び方」について討論をしました。最後に、「日常生活の中で知らず知らずに人を傷つけている行動はないか」と



アイスブレイクの「絵しりとり」



どの課題に対しても、一生懸命に考え、話し合います。



話し合った内容を発表して、全校で共有します。

いうことについて討論し、日々の生活の中で気をつけて行くことを全校で確認しました。また、個々には教室に帰って「振り返りフォーム」に入力して、自分の考えを整理しました。西箕輪中学校の皆さんは、人権問題やいじめ問題について、年間を通して各自が意識をもって生活をしていることがよく分かりました。

ウラ案内



伊那市中学生キャリアフェス 2025 「新歩 ～ 理想像へ向かって～」

11/20



キャリア
だより

今年度で8回目となる「伊那市中学生キャリアフェス2025」がエレコム・ロジテックアリーナ（伊那市市民体育館）で行われ、市内6中学校と伊那養護学校中等部の2年生約600名が参加し、出展していただいた地域の事業所86か所のブースを回って、地域や仕事について学びました。

市内6中学校から生徒実行委員に選出された12名の皆さんは、3月からキャリアフェス体験者の先輩や大人から情報を集めて5月の第1回実行委員会に参加し、そこから大人実行委員や市教委の皆さんのアドバイスも受けながら準備を進め、当日を迎えました。（詳細は伊那市HP「キャリアフェスだより」参照）参加した中学2年生の皆さんは、大人との語らいや仕事の内容から、自分の将来を考え、地域を知る機会となりました。



オープニング後、全員で記念撮影



靴磨き 山岸賢治 さん



(財)日本熊森協会



まつり芸能集団 田楽座



普段着きものを楽しむ店 萌黄屋



風雲 Coffeeroastery & Books



老人保健施設 すずたけ



ジブラルタル生命保険(株)



甘酒屋 an's

新山小学校「四者共催講演会」 11/20

「多様性と助け合いの社会を知ろう」

～ きみは きみのままで いいんだよ ～



ヘルプマークは、外見からは見えにくい、配慮が必要な人が、周囲にそれを知らせるためのマークです。

新山小学校で、講師に長野県ヘルプマークディレクターで、長野県教育委員会人権教育講師の猪又竜（いのまたりゅう）さん、井出今日我（いできょうが）さんを講師にお迎えして、「四者共催（PTA・公民館・同窓会・育成会）講演会」が開かれました。

はじめに、おふたりの自己紹介とそれぞれの特徴、現在の活動について聞きました。それから、「共生社会イラスト」を紹介してもらいました。このイラストには、子ども、LGBTQの人、ヘルプマークを付けている人、盲導犬を連れている人、おじいちゃん・おばあちゃん、妊婦さん、外国の人、人工呼吸器を付けて車椅子に乗っている人などが描かれており、様々な特徴を持った人が当たり前で暮らしていることをイメージできます。人はそれぞれ違うから、パズルのピースのように、苦手なこと（へこみ）と得意なこと（出っぱり）をつなぎ合わせて助け合い、助けてもらうことを遠慮なく言える関係作り、社会作りが必要で、苦手があっても落ち込む必要はなく、自分の得意なことを頑張っていこうとお話されました。

講演会の後、児童や保護者・地域の方、猪又さん・井出さんを含めたグループで「助け合いすごろく」という自分ができそうなことに手を上げて、他の人たちを助けるゲームを楽しみました。講演会とすごろくで、時間があっという間に過ぎ、自分に自信が持てて元気が出てくる講演会でした。



《猪又 竜 さん》
先天性心臓疾患により、走ったり泳いだりすることはできません。100人に1人の割合ですが、認知度はまだまだ低いということです。



《井出 今日我 さん》
5歳の時に、筋ジストロフィーの診断を受け、小学校6年生の頃には車椅子を使う生活になりました。井出さんのYouTubeをぜひ見て下さい。



どうしたら井出さんが、エレベータのない駅で電車に乗ることができるか話し合いました。



「助け合いすごろく」をやりました。



休憩の時、井出さんの周りに集まって、話をする児童の皆さん



児童代表から、お礼の言葉と花束贈呈が行われました。

「伊那市人権同和教育講演会」のおしらせ

- 講 師：蓮池 薫 さん（新潟産業大学経済学部特任教授）
- 演 題：「夢と絆 ～拉致問題の風化に抗して～」
- 日 時：令和8年1月17日（土） 午前10時～11時半（開場 午前9時半）
- 会 場：いなっせ6階「ニシザフいなっせホール」
- 入 場：無料
- 駐車場：いなっせ、セントラルパーク、伊那市駅前、伊那図書館 各市営駐車場
- 申込み：右の2次元コードから（定員になり次第、終了させていただきます。）
- 主 催：伊那市教育委員会 ○共 催：伊那市まほらいな市民大学、伊那市保育協会
- 問合せ：伊那市教育委員会生涯学習課 tel：0265-78-4111（内線2721）



申し込みはコチラから